

## 南魚沼地域で

# 農業を始めてみませんか？

- 就農といっても、農業で働くにはいくつかの就農ルートがあり、それによって活用できる支援策も変わってきます。
- まずはどのように農業を始めたいのか整理するとともに、どんな支援策があるのかを知りましょう！

### 1 就農までの流れ

就農相談

まずは関係機関へ相談し、何から始めたら良いか、情報の収集先はどこかなどを知りましょう。

情報収集

農業を始める上で、自分はどんな農業をやりたいのか明確なイメージを持つことがとても重要です。イメージを持つために、情報を収集しましょう。

体験・見学

実際に農業を体験・見学し、農業への理解を深めましょう。今まで抱いていた農業に対するイメージとの違いを確認し、自分にとってのメリット・デメリットを整理し、スムーズな就農につなげましょう。

意思決定

農業で生計を立てるという意志は固まりましたか？  
どの就農形態にするかは決まりましたか？

独立就農

自分で一から起業して始める形態

主な準備事項

- ・ 目指すビジョンの明確化
- ・ 就農計画の作成
- ・ 農地の確保
- ・ 農業技術の習得(研修等)
- ・ 住宅の確保
- ・ 機械・資金等の準備 等

研修

就農  
(営農開始)

法人就業

農業法人等に就職する形態

就職先を探す

- にいがた農業ナビの掲載農業者
- ハローワーク 等

就農

(法人等への就職)

親元就農

親の農業経営に参加する・  
経営を継承する形態

家族経営協定の策定を  
検討し、スムーズな  
経営継承に向けた  
話し合いを行う

就農

## 2 就農形態別の特徴

	独立就農	法人就業	親元就農
特徴	自分がやりたい農業経営を目指すことができます。	農地や機械等を持っていなくても、農業に従事できます。	農地や機械等を継承できるため、比較的スムーズに農業を始められます。
留意点	・技術の習得から資金の準備、農地や設備の確保等に多大な初期投資が必要です。	・雇用形態が法人ごとに異なるので、確認が必要です。 (通年雇用や、農繁期(4月から11月までなど)のみの雇用など様々なパターンがあります)	・就農後もずっと親が経営の実権を握り、うまく世代交代できないことがあります。
対応策	・要件等をよく理解した上で、各種支援策等を活用するケースが多いです。 ・ニュー農業塾や園芸参入塾等を活用して、栽培技術を学ぶ。	・働く前に、就業条件等で気になる点は、雇用主へしっかり確認しましょう。	・どのタイミングで経営を継承し、代替わりをするのかなどを事前によく話し合っておきましょう。

## 3 新規就農に関する支援策（令和4年8月現在）

### (1) 農業体験・研修に対する支援策

支援策	内容
①高校生インターンシップ	農業に興味のある高校生を対象に、夏休み期間中に先進農家の元で農作業体験ができます。 <u>(R4年は申し込み終了)</u> 【体験・研修期間】3日間（6月上旬までに申し込み） 【受付窓口】南魚沼地域振興局農林振興部（窓口4-④）
②農業体験研修	県内の先進農家の元で実際の農業を体験・研修できます。（南魚沼管内の研修先は11件の登録あり。） 【体験・研修期間】要相談（6日以内から3ヶ月以上も選択可） 【受付窓口】新潟県青年農業者等育成センター（Tel：025-281-3480）
③新潟県農業大学校への入校	農業を実践的に学習できる2年制の専門学校（新潟市西蒲区）で農業経営者等になるための知識や技術を習得できます。 【体験・研修期間】2年間（社会人向け1年制コースもあり） 【受付窓口】新潟県農業大学校教育科（Tel：0256-72-0133）

### (2) 就農準備・就農条件整備に対する支援策

支援策	内容
①就農準備資金	県が認める先進農家や研修機関で就農前に研修を受ける者に対して年間最大150万円を、最長2年間交付します。 【主な対象者要件】 ・就農予定時の年齢が原則50歳未満で、就農意欲が高いこと ・研修終了後1年以内に就農し、交付期間の1.5倍（最低2年間）以上就農を継続すること 等 【受付窓口】 ・南魚沼地域振興局農林振興部（窓口4-④）

支援策	内 容
②経営開始資金	<p>自らが新たに農業経営を行う者に対して年間150万円を最長3年間交付します。</p> <p>【主な対象者要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営開始時の年齢が50歳未満の認定新規就農者*であること</li> <li>・独立・自営就農の要件（本人名義で農地や機械・施設の所有権又は利用権を有している等）を満たして農業経営を行っていること</li> <li>・農家子弟の場合は新規参入者並みの経営リスクを負っていること</li> <li>・前年の世帯全体の所得が600万円以下であること 等</li> </ul> <p>【受付窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南魚沼市及び湯沢町（窓口4-①、4-②）</li> </ul>
③経営発展支援事業	<p>就農後の経営発展に向けて、交付対象者が自らの経営で使用する以下の助成対象について支援する。</p> <p>【主な対象者要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度中に独立・自営就農し、就農時の年齢が50歳未満であること</li> <li>・認定新規就農者*であること</li> <li>・機械・施設の取得費用等について、金融機関から融資を受けること</li> <li>・経営を継承する場合は、現状の農業経営から所得・売上等を10%以上増加させる、又は生産コストを10%以上減少させる計画であること。</li> </ul> <p>【受付窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南魚沼市及び湯沢町（窓口4-①、4-②）</li> </ul>
④青年等就農資金	<p>新たに農業経営を行うにあたり、経営計画の目標の達成に必要な資本装備や初動的経費（種苗費等）に対する無利子の融資資金です。</p> <p>【対象者要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定新規就農者*であること</li> </ul> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付限度額：3,700万円（特認1億円）</li> <li>・貸付利率・償還期間：無利子・17年以内（うち据置期間5年以内）</li> </ul> <p>【取扱金融機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>㈱日本政策金融公庫新潟支店</b>（Tel：025-240-8511）</li> </ul>
⑤にいがた農業応援ファンド (親元就農応援事業)	<p>新たに親元で就農を開始する子弟に対し、その営農費用の一部（最大20万円）を助成</p> <p>【対象者要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農業者等の親元農家のもとで農業に従事する者 等</li> </ul> <p>【受付窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAみなみ魚沼（窓口4-③）</li> </ul>

\*新規就農者自らが主として経営を行い、経営を開始してから5年間の営農計画等を記載した青年等就農計画を市町村長から認定を受けた者

### (3) 就農後の栽培技術の習得等の支援策

支援策	概要
①ニュー農業塾 園芸参入塾	<p>南魚沼地域の先進農家を講師として実践的な栽培技術や経営管理能力を学べます（稲作と園芸の2つのコース）。</p> <p>【期 間】 4月～12月（年間5回前後）</p> <p>【受付窓口】 南魚沼地域振興局農林振興部（窓口4-④）</p>
②新潟県農業大学 校での研修	<p>農業の担い手の育成等を支援するための様々な研修（農耕用機械の免許取得、経営管理研修、農産加工の技術習得等）を受講できます。</p> <p>【期 間】 詳細は新潟県農業大学校研修センターHPを参照</p> <p>【受付窓口】 新潟県農業大学校研修センター（Tel：0256-72-8547）</p>

上記以外にも普及センター・JAで経営発展等に向けた様々な研修を行っています。

## 4 就農に向けたチェックリスト

農業を始める前に、自身の農業への思いや農業する準備が整っているか、下記項目に沿って整理してみましょう。

	項目	記入スペース
1	<b>栽培したい品目</b> ・南魚沼地域は、水稻をはじめ、すいかやカリフラワーなどの園芸品目にも力を入れています。 ・何を栽培したいかは決まっていますか？	例) 水稻、すいか、その他野菜など
2	<b>栽培できる農地</b> ・実家の農地を引き継いだり、誰かから農地を借りる予定はありますか？	例) 自作地○a、借地○a取得予定など
3	<b>農業の経験</b> ・実際に農作業をしたことはありますか？また、どこかで研修や農業に関する勉強をしたことはありますか？	例) ○○農場で1か月間トマト栽培を経験、農業経験なしなど
4	<b>資金の準備</b> ・新規就農した方は、経営が安定するまでに数年を要する場合があります。最低2～3年分の生活資金や就農時の機械等の購入資金などを確保しておく必要があります。(自己資金や借り入れなど)	例) 自己資金○万円、借り入れ○万円予定など
5	<b>3年後、5年後の目標・方向性</b> ・「何年後までにはここまで規模を大きくしていきたい」、「何年後までにはこのくらいの収入を得たい」などの目標や方向性はありますか？	例) ○年後にはすいかと他の野菜品目の栽培で○万円の所得を得ていたいなど
6	<b>冬期間の働き方</b> ・南魚沼地域は豪雪地帯であり、冬は1～2mの積雪があり、都心などと全く違う生活になります。そのため、冬場は農業でなく除雪やスキー場等で働く農業者も多いです。冬の働き方も考えておきましょう。	例) スキー場でのアルバイト希望など

## 5 南魚沼地域の就農相談の窓口

南魚沼地域での就農相談を考えている方は下記の相談窓口にご連絡ください。

相談窓口・連絡先（電話番号）		
①	南魚沼市 産業振興部 農林課	南魚沼市六日町180番地1（北分館2階） 025-773-6663
②	湯沢町 産業観光部 環境農林課	南魚沼郡湯沢町大字神立300番地 025-788-0291
③	JAみなみ魚沼 営農指導課	南魚沼市浦佐5148-1(アグリセンター大和) 025-777-3786
		南魚沼市塩沢7-1(アグリセンターしおざわ) 025-782-1171
④	南魚沼農業普及指導センター (南魚沼地域振興局農林振興部)	南魚沼市六日町960（3階） 025-772-3337